

# Social Sports Learning

ソーシャルスポーツラーニング



資料2-2

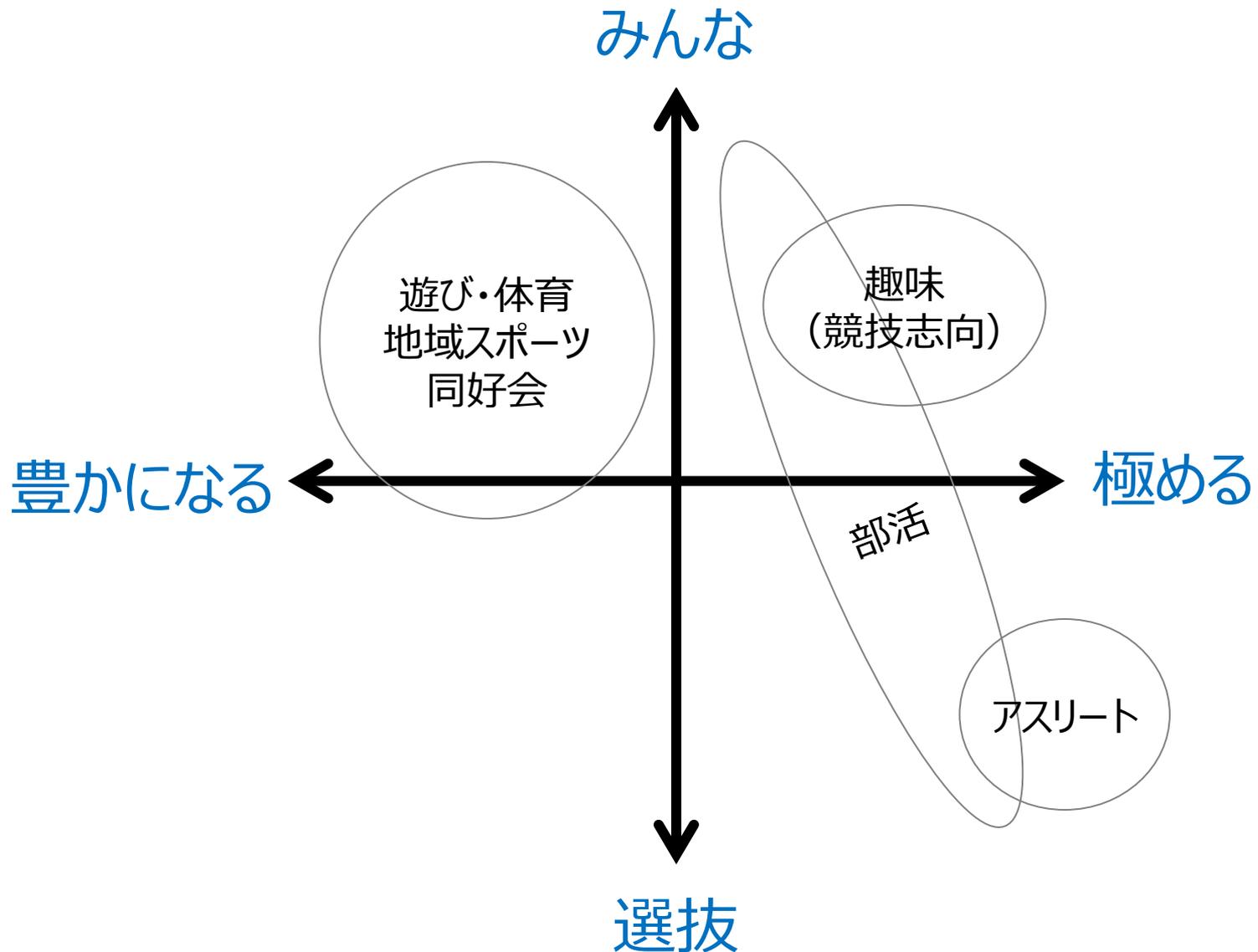
FUJITSU

shaping tomorrow with you

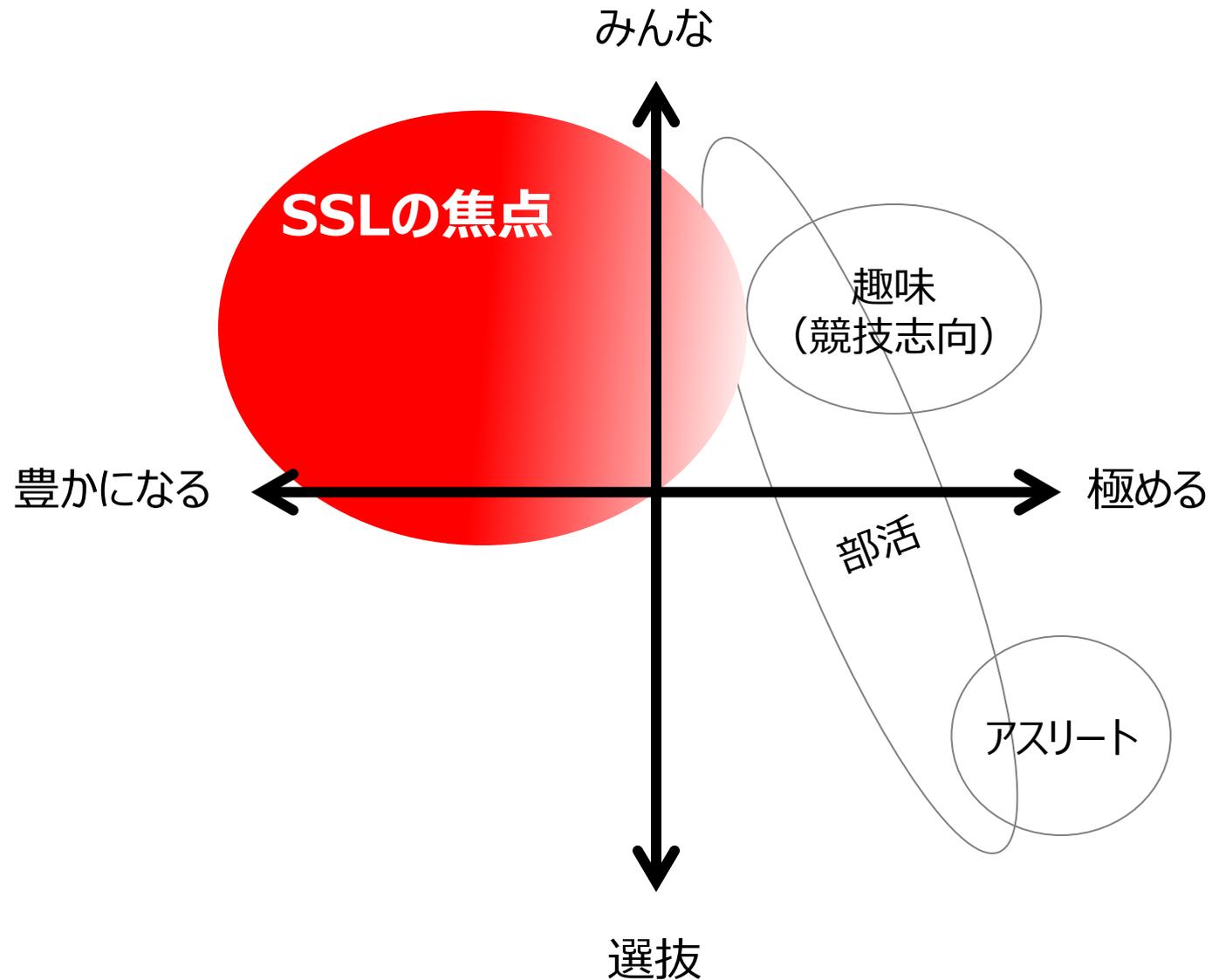
富士通総研  
経済研究所  
内島 誠

スポーツで豊かな社会を  
SSL取組みご説明





# 1 - 2. 焦点領域



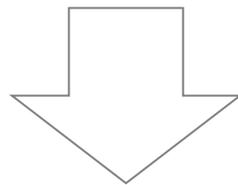
## 2. 児童の運動能力育成に大切なこと

専門家のご意見 鳴門教育大学 綿引教授

① バランスやリズムなど運動神経に関わる巧みな運動

② 運動神経系の発達時期（5～12歳）  
ゴールデンエイジ

③ 多様な評価軸



ICTを活用、バランスやリズムの運動データを収集・記憶・解析  
児童の皆さんに運動の多様な視点を楽しんでもらう

# 3 - 1 . 本年度の取組み（予定）

## ①対象

- ・保育園児～中学生

## ②規模

- ・ 5 県 15校 2000名

## ③種目

- ・縄跳び

## ④活動のスタートライン

- ・継続できるIT活用
- ・運動好きも嫌いも(みな)

## ①データ取得

- ・モーションセンサを専用ベルトで装着
- ・1分間縄跳びにおけるデータを取得



実施風景

## ②データ処理

- ・データをインターネット経由でサーバに転送、記録、解析

## ③運動指導

- ・地元指導員、教員等によるコーディネーション系の指導

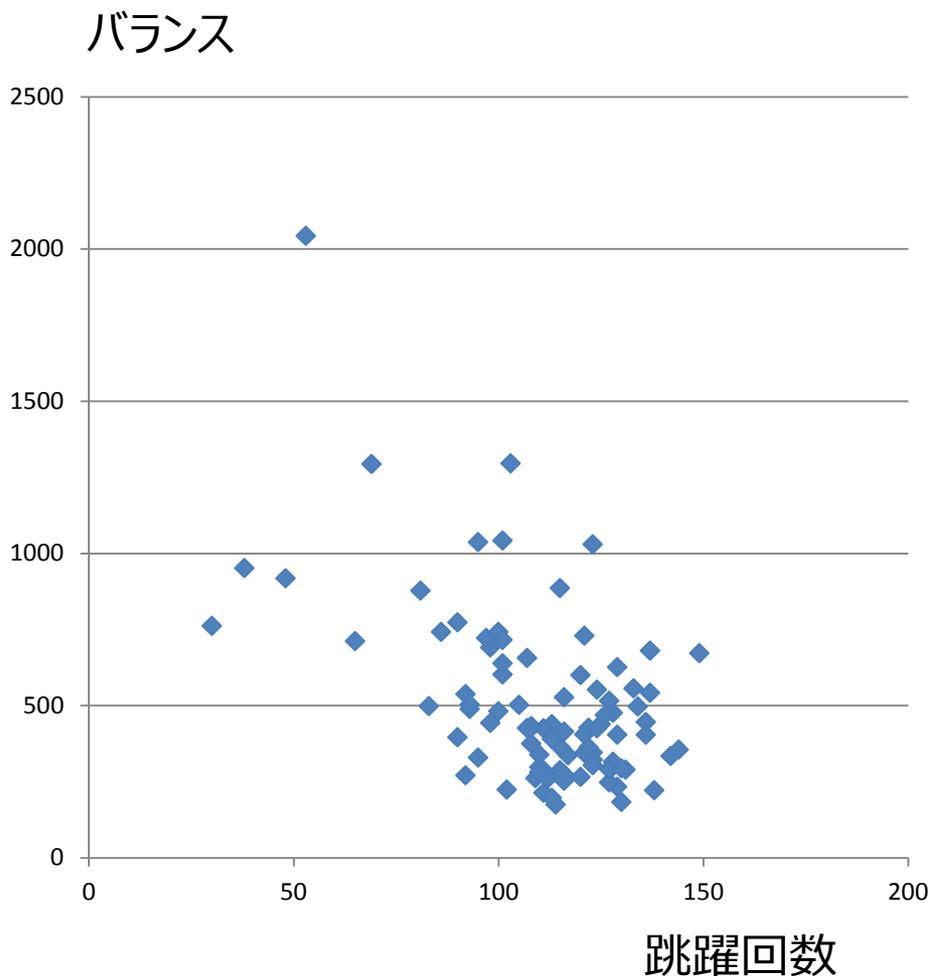
## ④フィードバック

- ・解析結果をもとにした振り返り授業
- ・児童、生徒によるグループ討議
- ・アスリートの情報提供

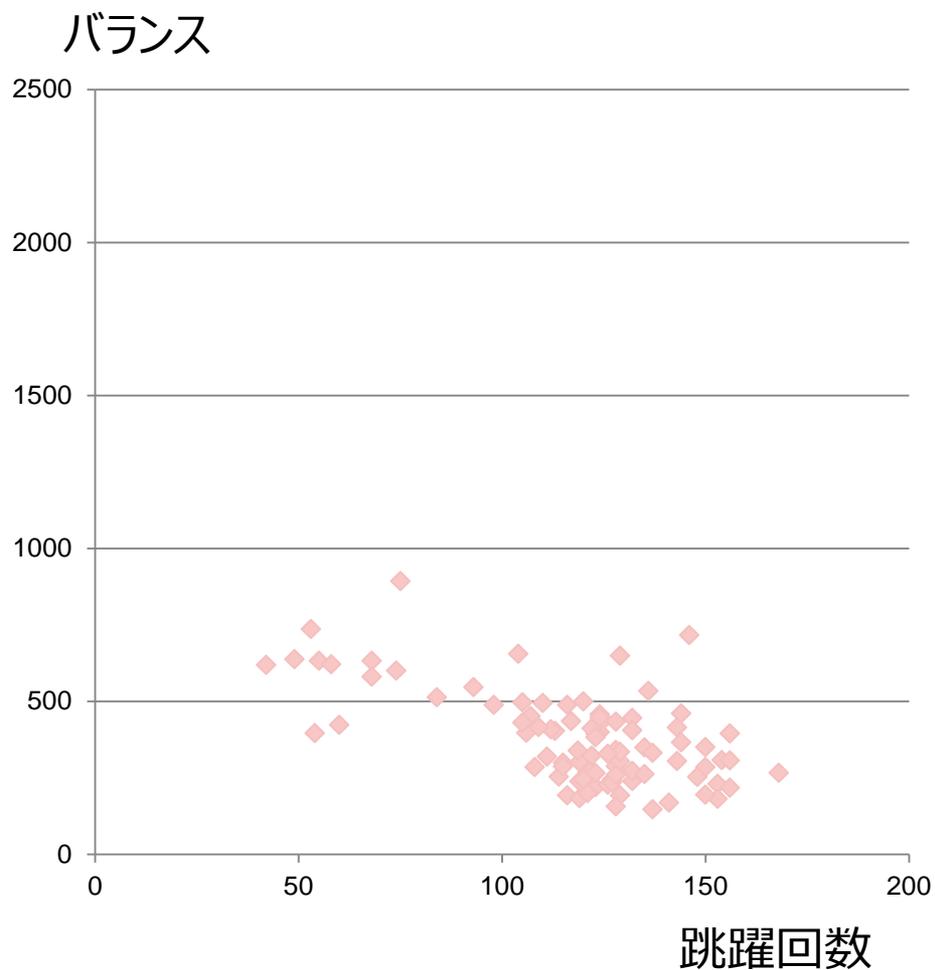


フィードバック授業風景

# 4. 解析例① 跳躍回数×体軸のバランス



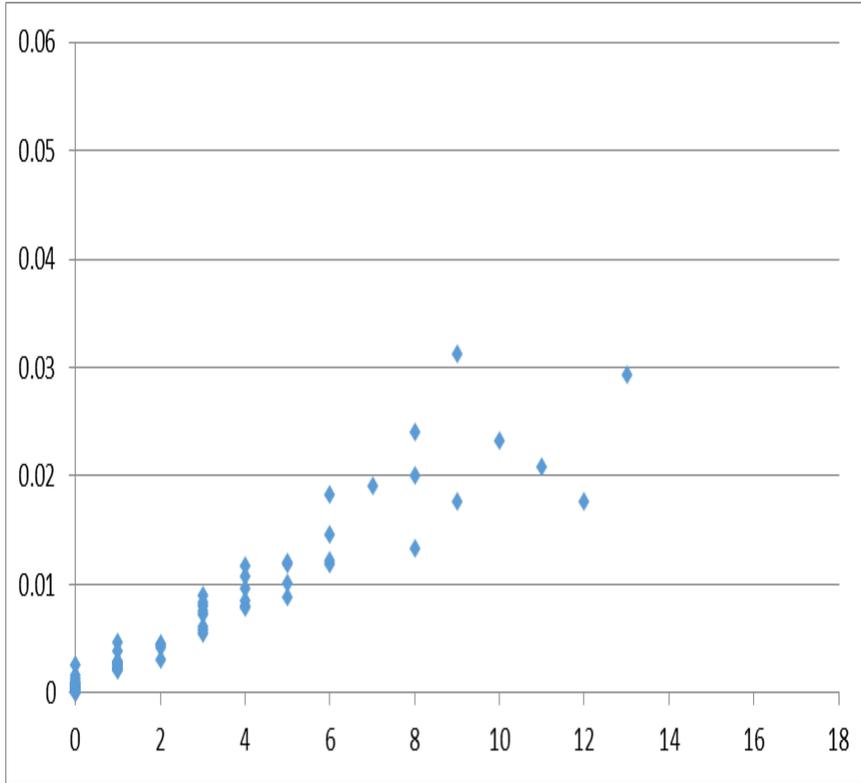
平成26年夏測定



平成26年冬測定

# 4. 解析例② 失敗回数×跳躍リズムばらつき

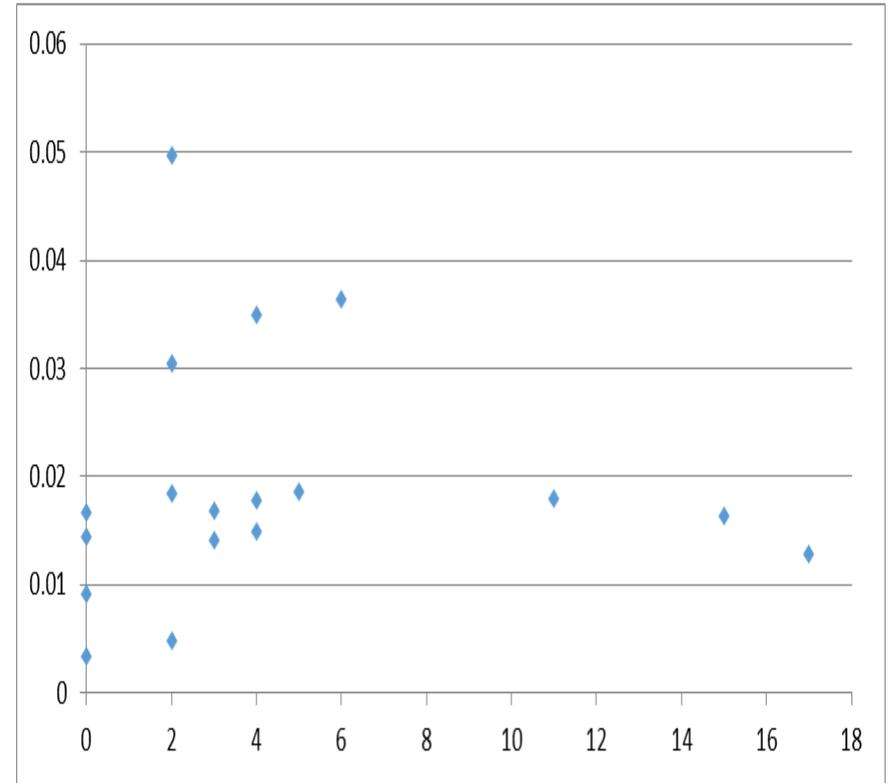
ばらつき



失敗回数

A小学校

ばらつき



失敗回数

B小学校

A : 相関(失敗回数,ばらつき) = 0.96 (強い相関)

B : 相関(失敗回数,ばらつき) = -0.001 (相関なし)

- ・短時間で、クラス全員同時にできるので良い
- ・運動の見方の多様性を理解した
- ・体育で目立っていなかった児童のデータが良かったのが嬉しかった
- ・他校、他地域の児童の状況を参照できた
- ・大人もリズム、バランスは難しい

- ・練習方法を話し合うのが面白かった
- ・回数だけでなくバランスも意識して跳んでみたい
- ・他の跳び方でもチェックしたい
- ・失敗が多いけど俺の跳躍は速い
- ・お父さんのデータも知りたい
- ・アスリートのデータにびっくり

## 6. まとめとして（目指したいところ）

- ①スポーツ基本法の本神によりそって
- ②地域といっしょに
- ③Openに産官学のちからをあわせて

『スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが  
人々の権利である』

## ・1st Step (トライアル)

- ①測定→弊社
- ②運動指導→**地域の方々** (例：NPO/大学/教員など)
- ③解析→弊社
- ④フィードバック授業→弊社

## ・2nd Step (成熟)

- ①測定→**地域の方々**
- ②運動指導→**地域の方々**
- ③解析→弊社
- ④フィードバック授業→**地域の方々**

※一部地域でこのstepに移行してきている

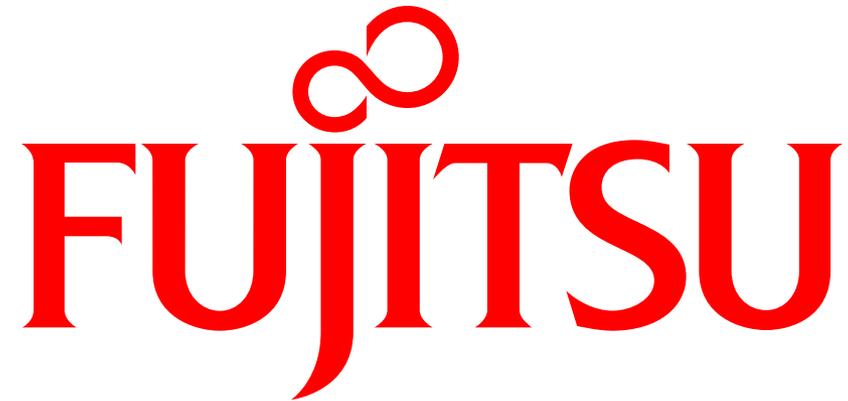
## ICTを活用して

- ・優れた日本のスポーツ科学
- ・アスリートの知恵や経験
- ・指導者の知識
- ・スポーツ情報

を現場に植えていく



SSLは 地域と歩む  
スポーツICT活用の土壌



shaping tomorrow with you